

2021 年度

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (基礎) / カウンセリングの基礎 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP2150
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特にありません。		
7. 講義概要	<p>カウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。プライバシーへの配慮などの倫理的側面、精神保健や予防など心の健康教育についても理解する。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの基本的な概念やプロセスを理解し、説明できる。 2. カウンセリングの面接技法、関係者への支援等について初歩的な演習を行う。 3. カウンセリングにおける倫理的側面、心の健康教育について理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>○評価のもとになるレポート課題 カウンセリングという対人支援について、その特徴や課題を「あなたの言葉」でまとめなさい。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】岩崎久志『対人援助に活かすカウンセリング』晃洋書房, 2020		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表・ノート作りをしたか。 2. レポートは、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 ○評定の方法 授業への参加度(学習態度、発表、ノート等)50% レポート課題 50%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>みなさんは心のケアという対人支援に関心を向けてくれました。この場合、①心のケアとは何か、②他者を支援するとは何かの少なくともふたつについて、自身の意見をもっていなければならないはずですが、①にも②にも関連しますが、カウンセリング(心理学的支援法のひとつ)はみなさんにとって一生かかかって取り組まなければならない関わりの技法です。 講義のみではなく、日常生活のありとあらゆる場面で①と②についての問題意識を高めてください。 初回講義時にお知らせします。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義時にお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	対人関係に活かすカウンセリング	事前学習	教科書第 1 章(pp. 3~20)からカウンセリングが有する対人関係への貢献を想定する。
		事後学習	自身が抱くカウンセリングとの違いを自身の言葉でまとめる。
第 2 回	対人援助職としての基本 1 -対人援助者の求められる自己知覚の重要性-	事前学習	教科書第 2 章(pp. 22~28) から「自己覚知」とは何か、その必要性について想定する。
		事後学習	自身がなぜ臨床心理学に関心をもつのかを自身の言葉でまとめる。
第 3 回	対人援助職としての基本 2 -こころのクセに気づくために-	事前学習	教科書第 2 章(pp. 29~42)から自身の「こころのクセ」とは何かを想定する。
		事後学習	自身のこころのクセとそれが示される場面を自身の言葉でまとめる。
第 4 回	カウンセリングの理論と援助法 1 -精神分析-	事前学習	教科書第 3 章 1(pp. 44~53)から「精神分析」のもつ視点を想定する。
		事後学習	精神分析の長所・短所などを自身の言葉でまとめる。
第 5 回	カウンセリングの理論と援助法 2 -来談者中心療法-	事前学習	教科書第 3 章 2(pp. 54~59)から「来談者中心療法」のもつ視点を想定する。
		事後学習	来談者中心療法の長所・短所などを自身の言葉でまとめる。
第 6 回	カウンセリングの理論と援助法 3 -行動療法-	事前学習	教科書第 3 章 3(pp. 60~65)から「行動療法」のもつ視点を想定する。
		事後学習	行動療法の長所・短所などを自身の言葉でまとめる。
第 7 回	カウンセリングの理論と援助法 4 -認知行動療法を中心に-	事前学習	教科書第 3 章 4(pp. 66~71)から「認知行動療法」のもつ視点を想定する。
		事後学習	認知行動療法の長所・短所などを自身の言葉でまとめる。
第 8 回	対人コミュニケーションのスキル 1 -コミュニケーションの仕組み-	事前学習	教科書第 4 章 1(pp. 78~83)から「非言語」の重要性を想定する。
		事後学習	コミュニケーションにおける非言語場面をあげてその特徴を自身の言葉でまとめる。

2021年度

第9回	対人コミュニケーションのスキル2 －傾聴・面接技法の展開－	事前学習	教科書第4章2(pp.84~92)から「傾聴」の重要視を想定する。
		事後学習	傾聴に必要な態度を自身の言葉でまとめる。
第10回	対人コミュニケーションのスキル3 －マイクロカウンセリングに学ぶ－	事前学習	教科書第4章3(pp.93~102)から「マイクロカウンセリング」の技法を想定する。
		事後学習	マイクロカウンセリング技法を日常生活で使いその印象を自身の言葉でまとめる。
第11回	チーム力を高めるコミュニケーション技術1 －アサーション・コーチング－	事前学習	教科書第5章(pp.105~120)から「アサーション・コーチング」とは何かを想定する。
		事後学習	アサーションやコーチングが用いられる場面について自身の言葉でまとめる。
第12回	対人援助職のメンタルケア1 －燃え尽き症候群－	事前学習	教科書第6章1(pp.123~130)から「燃え尽き症候群」とは何かを想定する。
		事後学習	燃え尽き症候群を予防する方法を自身の言葉でまとめる。
第13回	対人援助職のメンタルケア2 －ストレス対処法－	事前学習	教科書第6章2(pp.130~139)からストレスへの対処法を想定する。
		事後学習	自分なりのストレス対処法について具体例を挙げ自身の言葉でまとめる。
第14回	対人援助職のメンタルケア3 －スーパービジョン－	事前学習	教科書第6章3(pp.140~146)からスーパービジョンとは何かを想定する。
		事後学習	スーパービジョンを受ける意味について自身の言葉でまとめる。
第15回	チーム支援に活かす,そして一人ひとりに寄り添うカウンセリング	事前学習	教科書第7章(pp.148~171)から「チーム支援」の意味を想定する。
		事後学習	心の支援に関わるチームアプローチについて自身の言葉でまとめる。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	病院（心理科）での心理技術員、及び大学附属の相談センターにおいて臨床心理士としての勤務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		